



百合の花：院内

着任のごあいさつ

日頃より皆様方には当院の運営に格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

私は平成23年10月から平成27年3月まで当院での勤務後、呉→柳井→高松に異動となり、8年ぶりに愛媛医療センターに配属されることになりました高須賀と申します。宜しくお願ひいたします。

前回の勤務時には病棟本館及びサービス棟の新築立替整備工事に携わり、工事関連業務等の貴重な経験をさせて頂きました。その節には皆様方に多大なご支援ご協力を賜りありがとうございました。

前回の勤務時に比べると当院の西側道路が拡幅整備され、カイヅカイブキの生垣から白のメッシュフェンスに変わり見通しが良くなり、以前の凸凹の狭い歩道から広い平坦な歩道に様変わりし、小学生等の通学時の安全性が増したことを喜ばしく思っております。

また当院においては松山圏域の二次救急輪番に参加し地域医療への貢献や、電子カルテシステム導入等による診療機能の充実等が図られており時の流れを感じ

ております。

執筆しているのは5月ですが、新型コロナウイルスはオミクロン株の変異株である「BA.2」に置き換わり、今までよりも感染力が強いとされており愛媛県内の感染患者数も高止まりしている状況です。当院も感染拡大防止のため入院患者さんの面会を原則禁止、病院内では必ず不織布マスクの着用、来院時の体温測定の徹底、外来受診に付き添われるご家族は1名に制限等の対策を講じています。引き続き全職員が新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みますので、趣旨をご理解いただき皆様方にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務部長 高須賀 良樹



にゅう ふえいす

小児科
野間

真依子

2022年4月から愛媛医療センター小児科に赴任しました野間と申します。実家が東温市にあり、重信中学校に通学していましたので馴染み深い土地で勤務でき嬉しく思います。4月から東温市に住まいを変え、休日にはシロツメクサにミツバチが飛んでくるのを久しぶりに見ました。最初はどのミツバチも同じように見えてましたが、サイズや羽音など個体差があることを知ったり、割と速い速度で飛んでくるアゲハ蝶に驚かせられながら、楽しい毎日を送っています。

前任地は愛媛県立中央病院小児科です。小児がん（血液悪性腫瘍・固形腫瘍）や一般小児科の診療に従事していました。重症心身障害児（者）の方の診療はほとんど経験がないため、先生方やスタッフの皆様にご指導いただき、自分自身も少しずつ

ではありますが、患者様の病歴や状態を通じて勉強させていただいております。

愛媛医療センターに勤務し感じたことになりましたが、先生方やスタッフの方々が診療科の垣根を越え、また職種の垣根も越え、患者様に何が必要かをいつも考えられ実行されていることに感銘を受けました。当たり前のようにも思える心がけですが、心がけだけにとどまらず行動に移すことは経験や決断力のいることだと思えます。私も小児科医の役割である「子どもたちの代弁者」として、何ができるか模索したいと思えます。

季節の移り変わりを身近に感じられる自然豊かな愛媛医療センターで皆様が育ててこられた温かな風土に感謝し、日々を大切に過ごしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。



呼吸器内科

田邊 美由紀

この度6月より当院への配属となりました呼吸器内科医の田邊美由紀と申します。子どもの付き添い入院のため、2ヶ月ほどお休みをいただいております。出身は神奈川県平塚市で、小学校就学時に愛媛県松山市に移住し、高校大学は岡山県倉敷市で暮らしていました。趣味は自然観察や魚釣りで、4匹の猫（保護猫2匹、ソマリ、ラグドール）、祖母家で2匹の犬（シーズー）を飼っており、自然や動物に癒される時間が大好きです。

初期研修は松山赤十字病院と愛媛大学附属病院で行い、愛媛大学第二内科呼吸器グループに所属いたしました。2021年4月に第1子長男を出産、7月から勤務を再開し、時間的制約の中、もっと仕事をしたいと感じることもしばしばで、自分が役に立っているのか悩むことも多々あります。こ

どもの看護（入院中）と仕事の両立はなかなか難しいこともありますが、周囲の多大な理解とサポートに日々感謝しております。

愛媛医療センターでは今まで携わらなかった結核や新型コロナウイルスを含め様々な感染症、救急医療について追及し、責任感を持って患者様に寄り添った治療を提供および地域医療に貢献できるよう日々邁進する所存でございます。

他県で過ごした時期が長く、愛媛県内に知り合いが少ないため、すれ違った際は気軽に声をかけてくださると凄く嬉しいです。これから何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科 三好 誠吾

今年度より呼吸器内科に赴任しました、三好誠吾と申します。出身は愛媛県ですが、育ちは岐阜県となります。愛媛大学に入学し、以後は愛媛県にずっと在住しております。前任地も愛媛大学医学部附属病院で勤務しておりました。医師としての経験年数は19年となりますが、そのうち16年間を愛媛大学医学部附属病院で過ごして参りました。

大学病院では、ここ最近では肺がんの患者様を診療することが多くなってきており、喘息やCOPD、気管支肺炎といった、呼吸器疾患としてはcommon diseaseである病気を診察する機会が減っていた印象があります。医療センターに赴任して約1か月たちましたが、大学では診療する機会が減っていた疾患を診療する機会が増えた印象がございます（特に、結核や治療に難渋するよう

な非結核性抗酸菌症など、医療センターならではの疾患も多く、初心に返り、日々勉強の毎日を送っております）。地域に貢献できるよう診療に励んでいきたいと思っております。

また、医療センターでは輪番救急もされております。小生自身は、市立宇和島病院で3年ほど、救急対応などの経験がありますが、まだまだ未熟な部分が多いかと思われまます。皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかとは思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科 首藤 祥子

2022年4月から愛媛医療センター消化器内科に赴任いたしました首藤祥子です。出身は高知県高知市で、愛媛大学医学部への入学を期に、以降愛媛でお世話になっております。

愛媛医療センターで働かせていただく以前には南予にある市立宇和島病院で糖尿病・内分泌内科として勤務しておりました。当院でも主に糖尿病を中心に診療させていただいており、患者さんとは同じ目標に向かって二人三脚で打開策を考え、健康な生活を送る上での一助となればと考えております。

私事ですが、夫が西条市で勤めている関係もあり、毎朝桜三里を通過して通勤しています。宇和島にいた頃には病院から徒歩圏内に住んでいたこともあり、車はほぼ置物状態でした（長期間放置す

るとバッテリーがあがることは知っていましたが、まさか買い直しが必要になるとは思ってもみず、身をもって定期的に乗ることの大切さを思い知りました）。そんな生活とは打って変わって、通勤のたび桜三里を往復する生活となり、初めは戦々恐々としながら運転していましたが、今ではだいぶ慣れて、夜中や雨の日には視界が悪いのでトラックを盾にして走るすべも身に着けました。

糖尿病の分野においては前任が山内先生だったということで、プレッシャーが大きいですが、皆さんの期待に応えられるよう頑張りたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。



にゅう ふえいす どくた〜ず

続き

整形外科

田窪 明仁

はじめまして。2022年4月1日から赴任しました田窪明仁と申します。出身は今治市です。大学から上京し、日本大学に入学しました。学生時代は医学部の野球部に所属しておりました。野球やったりご飯いったり時々勉強したりの日々でした。サッカーのほうが好きかもしれません。卒業後は同大学整形外科に入局し関連病院を回って仕事をしておりました。2021年12月からは愛媛大学に所属し、まずは地元である愛媛県立今治病院に勤めておりましたが、今回人事異動で当院に就職することとなりました。就任以降2か月が経過しましたが当院で働かれているスタッフの方々みなさん優しく、働きやすく感じております。

私の専門は膝や股関節の人工関節を主としております。関連病院での勤務も長かったのですが、

そこでは救急や紹介で来られる外傷患者さんの治療を中心に変性疾患の治療も行うというスタイルでした。愛媛県では各部位の専門医が十分な人数おらず、専門分野以外での治療も積極的に行っていきたいと考えております。体の痛みがある方などいらっしゃったら紹介していただければと思います。

まだまだ未熟な私ですが松山東温地区の医療に貢献できるように頑張っていこうと思っております。よろしくお願ひします。



やったネ!

心電図検定 1 級合格

医療従事者にとって心電図を判読することは重要性が高く、正確に判読するには洞察力と多くの経験、訓練が必要となります。私自身も正直始めは心電図を読むのが苦手でした。しかし、患者さんを通して心電図に触れる中でもっと判読できるようになりたいと感じるようになり、ある程度心電図の判読ができるようになりましたが、その正確性についてはどこか不安がありました。そこで知ったのが、日本不整脈心電学会が開催している心電図検定でした。初めて受験した2019年夏に2級に合格しました。合格することで自信も付き、さらに上の級を目指し、今年1月に心電図検定1級を受験しました。1級は心電図の高度な判読力を有するもので、合格者は循環器専門医や、心電図に深く精通したメディカルプロフェッショナル

ルが多数を占めています。今年の1級受験者数は1421名で合格率は54.5%でした。船田統括診療部長を始め、サポートして頂いた方々のおかげで無事合格することができました。

現在、私は外来で勤務しています。救急車で搬送された方の対応をすることもあり、異常を見逃さないよう判読力を活かして日々の診療介助に努めていきたいと思ひます。また、心電図検定は「心電図にかかわる多くの知識を普及させ、我が国の医療の質の向上につながる活動を支援すること」を検定の目的としています。心電図に興味のある方、苦手だから自信を付けた方など心電図に興味を持って検定を受ける方が増えるように勉強会など出来ることを通して支援していきたいと思ひます。

外来 副看護師長 八木 忍



地域の輪



選手の交代をお知らせします

繋がる地域医療連携

4月1日に愛媛医療センターに赴任し、地域医療連携係長に就任となりました中川真砂美です。出身は愛媛県松山市で、四国がんセンターに就職し山口県では救急病院のすこさを学び、香川県ではハンセン病について学び、徳島県では難病について学んできました。そして、今回、地元愛媛に戻ってきました。

いろいろな土地での生活を経験するたびに愛媛の良さを感じていました。温泉に恵まれていることが私にとっての一番の癒しです。コロナが流行する以前は旅行が趣味でしたがそれがままならないため、香川、徳島では県内にある大浴場のあるホテルや旅館に1泊して気分だけ味わいリフレッシュしていました。

地域医療連携室は患者さんの生活と病院をつなぐ架け橋の役目を担っております。地域連携という職に初めて携わることとなり、気が引き締まる思いです。

心臓リハビリ目的に転院されてくる患者さんに関わるかと思えば、当院は2次救急病院という事

もあり、手術後リハビリ病院への転院調整も行っております。他院からの受診依頼や患者さんのご希望になるべく添えるよう外来受診、入院調整を行い、転院時には家族とのやり取りも重要な仕事となっております。

コロナ禍で家族の面会制限や病院への訪問が難しい中で、スタッフ一同電話片手に頑張っております。私はそれを見守る母のように後ろからそっとねぎらっているところです。

患者さんが安心して医療を受けられるよう常に耳を傾け、地域と患者と病院、施設を一つの輪を作り、その輪が切れないように努力していこうと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携係長 中川 真砂美



医心伝心

脂肪肝のおはなし

今回は脂肪肝の診断方法についてです。脂肪肝は放っておくと肝硬変、肝がんを発症することもある怖い病気です。

元々、脂肪肝とは肝細胞の30%以上に脂肪が蓄積した状態と定義され、その診断には腹部超音波(エコー)やCT検査が多く用いられてきました。特にエコー検査は、簡便に行うことができ、30%以上の肝脂肪を検出するのに有用です。しかし近年、肝細胞の5%以上に脂肪が沈着していれば脂肪肝と定義するようになり、エコー検査では見つけられない脂肪肝が増えてきました。

では、どんな検査をすれば脂肪肝を見つけられるのでしょうか。最も確実なのは肝生検(お腹に針を刺して、肝臓の細胞を採取する検査)ですが、入院が必要なこと、痛みを感じる人もいることから気軽に行える検査ではありません。そこで役立つのが超音波エラストグラフィ、MRI検査です。

超音波エラストグラフィはエコー検査と同じように機械を体に当てて、超音波の伝わり具合で肝

脂肪の量を測定する方法です。実際に脂肪の量が数値で表されるので、わかりやすいと好評です。同時に肝臓の硬さも測定でき、肝硬変になっているかどうかの判断にも役立ちます。

もう一つのMRI検査では、肝細胞中の脂肪の割合を調べることができます。エラストグラフィよりも正確で、肝生検に代わる有力な診断方法として広まりつつあります。

エラストグラフィもMRI検査も当院で検査可能です。気になる方はぜひご相談ください。

消化器内科医師 廣岡 可奈



肝脂肪量の測定中

医療安全管理室 だより

こんなことしています

ヒヤリハット0レベル報告の成果

医療安全管理室では院内の全部署の職員に向けてヒヤリハットのレベル0の報告を推奨しています。昨年度、

報告件数を伸ばすために少し工夫をしました。まず、各種会議の中で全部署の報告件数とレベル0報告の割合を提示し、自部署の状況の確認と他部署との比較ができるようにしました。

レベル0とは「誤った行為が発生したが、患者に実施されなかった事例」であり、仮に実施されたとすれば何らかの被害が予想されるものをいいます。

当初は、「どんなことを報告するのかわからない」と起こってもいいことを報告するという事になかなか理解と行動が難しい現状がありました。

そこで「管理と薬のセット間違いを発見し、誤薬が起こる前に発見した」「患者さんの確認不足を同僚に指摘された」など奨励されるレベル0報告の具体的な事例も報告することとしました。復唱やダブルチェックで間違いを発見し、お互いに指摘し合い、間違えた実施を防ぐことができた素晴らしい報告であったことを強調しました。

間違いから学べるものは多くあります。何が問題であったか、このことが実施されたらどのような被害が想定されるか、今後同様の場面に出会ったとき、

自分はどうするか…と考える機会をくれ、それぞれの危険予知力を高めます。

令和3年度、ヒヤリハット報告は全部署合計で2238件あり、前年度に比べ229件増加しました。そのうち36%がレベル0の報告でした。レベル0報告が50%以上の病棟もありました。報告書も「患者へ実施する前に発見できた。」「～したから防げた」などポジティブな表現が目立つようになりました。

ヒヤリハット報告件数が多い部署は危険なのではなく、安全への意識が高い部署であり、むしろ安全と言ってよいと思います。気づき合い、教え、教わり合いながら患者さん、職員ともに安全、安心の職場環境づくりを続けていきましょう。

医療安全管理室 高岡 佐奈美



四季燦餐 ～ピーマンの巻～

日ごとに暑さが感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、夏野菜の一つにも挙げられる「ピーマン」についてのお話です。

「ピーマン」は、熱帯アメリカの原産で、日本には16世紀ごろに伝わったとされ、広く一般に定着したのは戦後だそうです。

「ピーマン」の栄養は、ビタミンC、β-カロテンを多く含んでおり、100g当たりビタミンC含有量は約80mgと、トマトの5倍にあたります。ビタミンCは、美肌効果があり、コラーゲンの生成に不可欠な栄養素です。また、メラニン色素を分解する働きがあるため、夏の日焼け対策に効果が

期待できます。一般的にビタミンCは加熱に弱い特性がありますが、「ピーマン」はしっかりとした細胞壁に守られているので、加熱しても損失が少ないと言われています。

選び方のポイントは、ヘタの緑が鮮やかで切り口がみずみずしく黒く変色していないものが新鮮な証です。表面にツヤとハリがあり、肉厚なものを選びましょう。

旬の野菜を食べて、夏を元気に乗りきりましょう！



私達21期生は、4月6日に愛媛医療センター附属看護学校に入学しました。入学式は、規模を縮小しての実施となりましたが、無事行われたことを、とても嬉しく思います。入学直後は、オリエンテーション等で教えていただいた事を覚えるのに必死でしたが、21期生には親しみやすい友達が多く、また様々な疑問に答えてくれる先輩方や先生方のサポートのおかげで、徐々に新しい環境に慣れてきました。

専門的な学習が始まり、初めて聞く専門用語に看護専門学校での生活が始まったことを実感しています。期待が膨らむのと同時に不安も募りますが、同じ道を目指す仲間とともに、楽しいことも苦しいことも分かち合い助け合いながら、成長していきたいと思えます。まずは、看護学の基礎を固め、自分のなりたい看護師像を見つけること、根拠を考えながら行動し、意思表示をしっかりとすることを目標に将来社会に貢

献できる看護師になれるよう、努力し続けようと思えます。

これからの3年間、講義で学んだことや実習先での経験が、将来私達の糧になるように、このかけがえのない時間を21期生の仲間達と共に歩んでいきたいと思えます。

21期生 亀井 那歩

誓いの言葉



子どもの頃から読書好きで、現在蔵書は二千冊を超えている。読破した数はおそらく三千冊を超えるのではないだろうか、その余録で得た雑学知識はちょっとしたもんだと自負している。一例を紹介すると、近所の河川敷を散策中にアツミゲシ(アヘン)を採取できる違法芥子の野生の群生を見つけたので、保健所に通報したことがある。知らなければ、可愛い花が咲いている。で通り過ぎただろうが、知識があったからこそ通報につながった出来事だ。

ところで、大陸の東の端の半島にある某国では、唯一無二の將軍様のために、殆どの国民が「知る」ことを封じられていると聞く。無知の民は統治しやすく、知らないことは幸せなこと。というわけだ。この辺り、何にも無いところで裸で暮らす自分たちは幸せだと思いつまされてきた、リンゴを食べる前のアダムとイヴに似ているといえる。(私はキリスト教の教義を批判しているわけではありませんし、人間の原罪について論じるつもりもありません。あくまでも例えです。誤解無きよう)

ジョン・ミルトンは、その一大叙事詩「失樂園」の中で「それにしても、知識が禁じられるとは、そんな奇怪な、無法なことがあり得ようか」とルシファーに言わしめている。

知ること、知識を得ることは罪悪なのだろうか、否。知ったことを邪ごとに使うことが悪なのだ。ということも誰でも知っているが、邪な誘惑があることもまた事実で、それを如何に振り払うかは、一人一人の道徳心に向うところ大であると思つ。私もこれまで得た知識を、よりよいことに活用できるようにしなければ…。と思つ今日この頃。

尤も私の場合蓄えた知識は、差し当たって今日明日の生活には何の役にも立たず、影響も及ぼさない、無駄知識ばかりではあるのだが…。

樹懶庵



ちよつと言ひ放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834
外科外来直通電話 089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	船田	関谷	岩田	関谷
		午後		堀江	船田		
消化器内科	9診	午前	古田	廣岡	久保	首藤 (糖尿病専門)	久保
		午後					
	11診			首藤			
	12診					大藏	
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	三好	伊東
		午後					田邊
	11診	午前		渡邊		仙波	
		午後					
	8診	午前	三好				山本
		午後					
脳神経内科	8診	午前				尾原	
	12診	午前	尾原	戸井			戸井
		午後	大八木				
整形外科	14診	午前				田窪	
	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
	16診	午前	玉井	田窪	玉井		
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部	曾我部		
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部(第3週)	
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
小児科(神経外来)	14診	午後	菊池		桑野 原間		菊池

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	16診					泉谷
ペースメーカー外来	16診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					宮崎(第4)
フットケア外来	小児面談室				毎週	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	12診			山内(康)(午前)		
じん肺外来	16診					西村(第1・3午前)
アスベスト外来	14診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13時30分~)				
SAS外来	11診					渡邊(14時~16時)
頭痛外来	16診				永井(第2・4午前)	
神経難病	8診			橋本		

※外来受付は8時30分から11時までです。内科は13時から16時までです。
ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2022年7月1日現在

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。